



日本遺産 日が沈む聖地出雲

～神が創り出した地の夕日を巡る～

朱色に染まる聖地

出雲日御碕の夕日

タクシー送迎プラン
(限定先着200台)

(認定ストーリーの概要)

島根半島西端の海岸線は、出雲神話の舞台となった

いなさ「稲佐の浜」とひのみさき「日御碕」の名で親しまれ、そこから見る夕日は絶景です。

しかしこの海岸線に、夕日にちなんだお社である^{あめのひすみのみや}「天日隅宮」(出雲大社)と^{ひしすみのみや}「日沉宮」(日御碕神社)が祀られていることはあまり知られていません。

古来、大和の北西にある出雲は、日が沈む聖地として認識されていました。

とりわけ、出雲の人々は夕日を神聖視して、畏敬の念を抱いていたと考えられます。

海に沈むこの地の美しい夕日は、日が沈む聖地出雲の祈りの歴史を語り継いでいます。

[企画] 一般社団法人出雲観光協会・出雲地区旅客自動車事業共同組合

大社地区発着プラン

平成29年7月～平成29年12月 [所要時間]約90分

“今日の出雲の夕日指数(日本気象協会提供)”

※7月中頃よりサービス開始予定

～ホームページ『出雲観光ガイド』で検索～

行程 大社地区＝稲佐の浜(車窓)＝日御碕神社…徒歩…日御碕(灯台周辺)…日御碕駐車場＝大社地区

※日御碕神社から日御碕駐車場の間は自由徒歩見学となります。

実施月	出発時間	到着時間	日没時間(目安)
7月	18:40	20:10	19:30
8月	18:20	19:50	19:13
9月	17:40	19:10	18:36
10月	17:00	18:30	17:53
11月	16:30	18:00	17:15
12月	16:00	17:30	16:58
1月	16:10	17:40	17:09
2月	16:50	18:20	17:38
3月	17:20	18:50	18:07

要予約 | 当日の出発時刻の90分前までにお申込み下さい。

■記載のタクシー会社に直接お申込み下さい。(満車等でお手配ができない場合もございます。)

出雲観光タクシー TEL:0853-53-3230 大社ハイヤー TEL:0853-53-3211

※配車可能場所: 神門通り広場タクシー乗場/大社地区主要宿泊施設(申込時にご指定下さい)

[集合時間] ご出発の5分前にお越し下さい。

※日没時間は目安です。多少前後する場合もございます。

※天候により夕日をご覧いただけない場合もございます。またその場合でも料金の返金はありません。

※交通事情等により出発・到着時刻が変更になる場合もございます。

※簡単なアンケートのご記入をお願いします。

[料金] 1台あたり(税込)

タイプ(定員)	料金	モニター料金
タクシー (4名)	8,950円	7,000円
ジャンボタクシー (9名)	10,540円	8,500円

[料金に含まれるもの] 往復のタクシー料金

出雲市駅地区発着プラン

平成29年7月～平成29年12月 [所要時間]約150分

“今日の出雲の夕日指数(日本気象協会提供)”

※7月中頃よりサービス開始予定

～ホームページ『出雲観光ガイド』で検索～

行程 出雲市駅地区＝稲佐の浜(車窓)＝日御碕神社…徒歩…日御碕(灯台周辺)…日御碕駐車場＝出雲市駅地区

※日御碕神社から日御碕駐車場の間は自由徒歩見学となります。

実施月	出発時間	到着時間	日没時間(目安)
7月	18:10	20:40	19:30
8月	17:50	20:20	19:13
9月	17:10	19:40	18:36
10月	16:30	19:00	17:53
11月	16:00	18:30	17:15
12月	15:30	18:00	16:58
1月	15:40	18:10	17:09
2月	16:20	18:50	17:38
3月	16:50	19:20	18:07

要予約 | 当日の出発時刻の90分前までにお申込み下さい。

■記載のタクシー会社に直接お申込み下さい。(満車等でお手配ができない場合もございます。)

出雲一畑交通 TEL:0853-21-1144 谷本ハイヤー TEL:0853-21-1051 出雲第一交通 TEL:0853-21-2555 アポロハイヤー TEL:0853-22-4141

日本交通出雲営業所 TEL:0853-21-0475 やくも観光 TEL:0853-21-1683 湖陵タクシー TEL:0853-43-1031

※配車可能場所: 出雲市駅北口/出雲市駅周辺および近郊の主要宿泊施設(申込時にご指定下さい)

[集合時間] ご出発の5分前にお越し下さい。

※日没時間は目安です。多少前後する場合もございます。

※天候により夕日をご覧いただけない場合もございます。またその場合でも料金の返金はありません。

※交通事情等により出発・到着時刻が変更になる場合もございます。

※簡単なアンケートのご記入をお願いします。

[料金] 1台あたり(税込)

タイプ(定員)	料金	モニター料金
タクシー (4名)	16,600円	14,700円
ジャンボタクシー (9名)	21,800円	19,800円

[料金に含まれるもの] 往復のタクシー料金



稲佐の浜

稲佐の浜(蘭の長浜)は南北約10kmにわたる砂浜で、かつては西へ開いた出雲の海の玄関口として多くの船や人を迎えました。「国譲り神話」の舞台となったのは稲佐の浜の北端で、この弁天島がある辺りと言い伝えられています。ここでオクニヌシは自身の霊が住むための宮を築くことを条件に国譲りを承諾しました。今でも旧暦10月10日には日没を待って、出雲大社の神職が全国から参集される八百万の神々をお迎えする「神迎神事」がこの稲佐の浜で執り行われています。



日御碕神社

現在の社殿は徳川家光の命により造営された朱塗りの権現造りで、江戸時代初期の貴重な建築として重要文化財に指定されている。日御碕神社にはスサノオを祀る「神の宮」とアマテラスを祭神とする日沉宮があり、日の出に象徴されるアマテラスは、ここ出雲では日の入りの夕日に象徴され、江戸時代には、日沉宮は日が沈む聖地の宮と称されるようになった。



経島(フミシマ)

日御碕神社のそばにあり、その名称はたくさんの経巻が固まってできたという伝承に起因する。毎年8月7日には、日御碕神社の神職によって夕日を背景にした「神幸神事」が執り行われる。



出雲日御碕灯台

奇岩や絶壁が続く景勝地国立公園日御碕。その先端に立つ43.65mの灯台は石積みとしては日本一の高さを誇る。「世界の歴史的灯台百選」のひとつ。